# 令和7年度千葉県社会奉仕賞被表彰者【個人】

| No | 推薦<br>市町村 | 氏名 | 功績概要 |
|---|---|---|---|
| 1 | 君津市 | 野田（ノダ）　陽子（ヨウコ） | 平成２年４月１日から多岐にわたるボランティア活動を通じて地域福祉の向上に貢献した。特に県障害者スポーツ大会のサウンドテーブルテニスに参加する選手の移動・会場内サポート、君津視覚障害ネットワークや君津リバース協会の行事支援、ボウリング大会のガイドヘルプなど様々な場面で視覚障害者の活動を支え続けてきた。<br>また、福祉体験学習における視覚障害者講師のサポートを通じた障害に対する学生への理解を深める活動や視覚障害者からの依頼に応じたスポーツ新聞の読み上げや買い物時の同行援護など、個別のニーズに応じたきめ細やかな支援を長年実施してきた。現在も、視覚障害者に対する買い物時の同行援護を中心として、スポーツ大会時のサポートや移動支援等の支援活動を継続している。<br>長年にわたるこれらの活動は、地域福祉の発展に大きく貢献している。 |
| 2 | 船橋 | 安倍（アンバイ）　アイ | 平成１２年３月よりボランティアを開始した。<br>船橋健恒会ケアセンター、ほっとスクエア夏見での手伝い、高齢者施設での傾聴ボランティア、シルバーリハビリ体操の指導、地区社会福祉協議会の手伝い等を通し、船橋の福祉に多大な貢献をしている。 |
| 3 | 木更津市 | 赤羽（アカバネ）　新嘉（シンカ） | 平成20年４月から主に70歳以上の一人暮らしの高齢者及び65歳以上の障害を持つ夫婦に対して実施していた給食サービス事業の調理ボランティアとして、利用者の希望や栄養面を考慮した弁当の調理を実施。配送ボランティアや配食ボランティアと連携し弁当の配達をすることにより利用者の安否確認と見守りや孤独感の解消などに多大なる貢献をした。<br>上記の活動と並行して傾聴ボランティアを行っている「傾聴ボランティアたんぽぽ」と「ちゃう・ちゃう」の会員（「たんぽぽ」は令和5年に脱退）として、高齢者の個人宅や施設へ訪問し傾聴活動を実践。人と話す機会が少ない高齢者のお話を聴くことで孤独感の解消や自己肯定感の向上に貢献。令和５年からは本会の傾聴ボランティアとしても活動を実施しており、高齢者の個人宅に訪問し高齢者の精神的な健康維持や介護予防にも寄与している。なお施設、個人宅ともに月1～2回訪問している。<br>さらに障がい者施設にて朝の散歩の付き添いや趣味の手芸を活かして作業の手伝いをしており、利用者の社会参加機会の一助となっている。また本会が実施するイベント等へ積極的に協力しており、高齢者施設等ではフラダンスの披露など地域福祉にも貢献される。<br>その他に福祉体験学習で使用する車椅子及び高齢者疑似体験用具の消毒ボランティアとしても献身的に協力している。依頼のあったボランティアはチャレンジするという気持ちをもっており永年にわたるボランティア活動の功績は多大である |

# 令和７年度千葉県社会奉仕賞被表彰者【団体】

| No | 推薦<br>市町村 | 団体名 | 功績概要 |
|---|---|---|---|
| 1 | 流山市 | おはなしくれよん | 平成３年５月１日、流山市思井児童センターの図書ボランティアグループとして発足。流山市ボランティアセンターに登録。流山市子どもの読書推進の会会員。<br>流山市思井福祉会館を活動拠点とし、週１回の定例会と人形劇や影絵等の練習に精励している。絵本の読み聞かせや素話等の技術向上を図るため研鑽を積み、児童福祉の向上に務めた功績は他の範たるに相応しいものである。 |
| 2 | 千葉市 | スペシャルオリンピックス日本・千葉 | 平成１３年１２月の結成以来、長年にわたり知的障害者にスポーツプログラムの提供や発表の場となる競技会の開催等を行っている。<br>これらの活動は、知的障害者の心身の健康増進や社会参加の促進を図るとともに、地域住民の福祉に対する関心を深める機会を提供するなど、地域社会における福祉の向上に大きく貢献している |
| 3 | 御宿町 | 朗読ボランティアの会 | 町の広報誌録音を平成２年より開始。<br>視覚に障害がある、障害者、高齢者に対し、町の広報誌「御宿広報」を朗読、録音したCDを対象者に配布。<br>近年は利用者のニーズに合わせ、CD録音を行い直接届けるなど、利用者との交流の機会も作っている、 |
| 4 | 浦安市 | 福祉サークルコスモス | 平成２年７月２９日設立。<br>市内在住の障がい者(主に肢体不自由)が集まり、健常者と共に自らボランティアとして参加しながら、誰もが住みやすいまちづくりを進めているボランティアグループ。設立当時から、主に小・中学校や企業へのボランティア体験学習に取り組み、車いす・ブラインドウォークの体験(介助方法含む)、障がい者の視点を伝える講話を通じて、福祉教育の推進に寄与した。<br>また、福祉との関わりが少ない市民と共にまちに出かけ、障がいのある人が普段どのようなことに不自由を感じているかを知っていただく企画を継続して実施。近年はユニバーサルスポーツの普及に力を入れ、ボッチャ体験講座を通じ、ボランティアを志す学生等への福祉教育及びボランティアの魅力を伝える啓発活動に尽力している。<br>障がい者が中心になりボランティア活動を展開しているグループは希少であり、これまでの活動実績から千葉県社会奉仕賞に相応しいグループとして推薦するものである。 |
| 5 | 船橋市 | 飯山満ばか面おどり友の会 | 平成３年４月から活動を開始。高齢者施設や町会の敬老会、市民祭りなどでばか面おどりを披露している。<br>コロナ禍以前は上記の他、小学校、幼稚園での指導にも呼ばれ、月２回の練習の他、年１０回以上の慰問等の活動をしていた。<br>コロナ禍もできる範囲で練習を続け、令和６年度はまつりや慰問で７回披露し、船橋市の郷土芸能である「ばか面おどり」の普及に努めるとともに、船橋の福祉に大いに貢献している。 |
| 6 | 木更津市 | 八幡台わかば会 | 平成15年4月1日に結成され傾聴ボランティアとして活動を開始。地域の独居または日中独居の高齢者とのふれあい・親睦を図ることを目的にサロン活動を実施している。参加者は傾聴ボランティアや他の参加者と交流を図ることで、人間関係を広げ、社会参加の機会を増やすきっかけとなり、生活にメリハリが生まれている。また開催時に筋力体操等を行うことで介護予防にもつながっている。<br>サロン活動は毎月第4金曜日10時から12時までを活動時間としている。毎月、地区の民生委員経由で案内状を約140枚送付しており、その効果もあり利用者の数は40名前後と年々増加している。また年2回程度、茶話会として食事の提供も行っている。さらに地域のまちづくり協議会が毎月第2火曜日10時から11時30分に開催しているコミュニティカフェにも傾聴ボランティアとして参加しており、高齢者の生活に寄り添う活動をとおして、永く地域福祉の向上に尽力されており、その功績は大きい。 |
| 7 | 御宿町 | 配食ボランティアの会 | 平成５年４月１日設立。<br>他者との交流の機会が少ないひとり暮らし高齢者を対象に、月１回お弁当を届ける活動を平成５年より開始。<br>利用者に安心して話して貰えるように、地域担当制で訪問し、利用者の変化などを社会福祉協議会などに報告している。<br>過去には、外が暑い時期なのに「寒い」と言ってこたつに入っていた利用者の異変を、家族に伝え受診することができ、重症化を回避することができたなどの事例があった。 |